

# 令和6年第12回恵那市教育委員会会議録

開催日時 令和6年11月26日(火) 午前9時00分～

開催場所 恵那市中央図書館 2階 セミナールーム

出席委員 教育長 岡田庄二  
教育長職務代理者 後藤伸子  
委員 樋田千史  
委員 西尾修欣  
委員 村松訓子

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

副教育長 工藤博也  
事務局長 鈴木幸宣  
事務局次長兼学校教育課長 丸山頼彦  
教育総務課長 瀬瀬千尋  
教育総務課総務係担当係長 志津博光

日程第1 会議録署名者の決定  
日程第2 会期の決定  
日程第3 会議録の承認  
日程第4 教育長の報告  
日程第5 議事

議事	案件名	結果
議第35号	城ヶ丘こども園の指定管理者の指定について	可決
議第36号	岩村こども園の指定管理者の指定について	可決
議第37号	契約の締結について	可決
議第38号	契約の締結について	可決
議第39号	契約の締結について	可決
議第40号	令和6年度12月補正予算(案)に関する意見について	可決
報第3号	令和5年度教育委員会点検・評価報告書について	—

開会(午前9時00分)

教育長 おはようございます。定刻になりましたので、令和6年第12回恵那市教育委員会定例会を始めます。

## 1 会議録署名者の決定

教育長 日程第1、会議録署名者の決定です。樋田委員、西尾委員、よろしくお願ひします。

## 2 会期の決定

教育長 日程第2、会期の決定。令和6年11月26日、1日間です。

## 3 会議録の承認

教育長 日程第3、会議録の承認。前回の定例会の会議録について、修正等ありましたらよろしくをお願いします。

樋田委員 文章の表記ですが、「たり」という言葉を使った場合は「たり、たり」になります。3ページの真ん中より下にローマ字の「ENAFES」があり、その下の4行目に「職員が替わったり、子供も状況が変わっていく中で」とありますね。「たり」をそこで使ったならば、「子供の状況が変わったりしていく中で」と「たり」をもう1個入れる。

教育長 「変わって」のところですね。

樋田委員 そう。「たり、たり」というのを表記で使うので、これを入れてほしい。

教育長 「子供の状況が変わったりしていく中で」ですね。

樋田委員 そう。もう少し上の段の井戸田さんの話のところにも「たり」があります。

教育長 「投げかけができたりするのだなということを思って」のところ。

樋田委員 そう。その「たり」は取って「できる」だけにしては。

教育長 「投げかけができるのだなということ」ですか。

樋田委員 そう。そういう表記にしてもらいたいなと思いました。以上です。

教育長 ほかにありませんか。

委員 ありません。

教育長 では、修正しますので、よろしく願いいたします。

## 4 教育長の報告

教育長 日程第4、教育長の報告です。

11月21日の明智中学校の教育長訪問を最後にして、全てのこども園、小中学校の教育長訪問が終わりました。今年全体を見て感じたことは、こども園でいうと、昨年度の教育長訪問で話題にしたことを受けて、今年度はこういうところを変えていきましたとか、もっとさらに充実しましたというようなことで、教育長訪問が続いているというか、点で終わっているのではなく、そこを受けて、来年度に向けてこんなふうやっていこうというようなことを取り組んでいただいているなということが伝わってくる教育長訪問でした。小中学校は、校長先生の思いやビジョンが明確で、それに向けて学校が組織として向かっていっているなということがよく分かる教育長訪問でした。学校や園の規模によってそれぞれに抱えている問題や課題があるわけですが、それぞれの学校が課題を明確にして取り組んでいるなということも分かりました。来年度も引き続き行いますので、また教育委員さん方もそれぞれに行っていて、いろいろとお気付きのことを教えていただくとありがたいなと思いました。

11月1日に恵那北中学校で市の指定の発表があり、11月12日には、恵那西中学校で東濃地区教育推進協議会の指定も兼ねた発表がありました。そして、

今日の午後から大井小学校が市の指定の発表ということで、今、発表のシーズンですけれども、どの学校もやりたいことが明確になっていて、それに取り組んでいるなというのがよく伝わってきました。恵那西中学校は、ほぼ全教科を公開しましたけれども、どの教科も特に「対話」を大切にして授業をつくろうとしているなということが伝わってきました。今日午後からの大井小学校は算数の授業を通して、育てたい子供にどのように向かっていくかということを発表してもらいますけれども、また内容については次回報告させていただこうかなと思います。

10月26日に岩村で言志祭がありました。佐藤一斎先生に関わっての行事で、例年のように6年生が群読をしてくれましたけれども、年々内容とか工夫がされているなということを感じました。それから、また後ほど話しますが、嚶鳴フォーラムに行ってきたのですが、そこに出席して改めて言志祭の子供たちの姿も見えていて、先人教育というのが子供のよりどころをつくるような教育というか、例えば岩村でいいますと自分の好きな言葉を発表するのですが、苦しいときとか何か悩んだとき、嬉しいことでもいいのですが、そのようなときにそういう言葉を思い出して、よし頑張ろうとか、これがあったからよかったなど。言葉だけではなくて先人教育とか、ふるさと教育として何かあったら、ちょっと恵那の風景を見たいなとか、見て心が落ち着くとか、そんなようなものになってくるといいなということを感じていました。

それから、10月28日に上矢作中学校で東濃地区のへき地・複式教育研究大会がありました。毎年、東濃地区で行われていますが、東濃地区といえども、今、へき地・複式があるのは、恵那市と中津川市だけですので、その2市の学校でやっているわけですが、来年度から瑞浪市の小学校が2つ加わります。これは複式ができるということで、再来年度は複式が3つぐらいになるのではないかなと思うのですが、そういうふうにしてまた小規模化していているなということと、これからますますへき地・複式の研究というのは大切になってくるのではないかなということを感じました。

11月10日にはジュニアエコノミーカレッジがありました。これは恵那商工会議所の青年部の方が中心になって、子供たちが起業して税金を納めるまでの一連のことをやるわけですが、今年はまちなか市で子供たちは自分たちが作ったものを売りました。今年は8グループが参加したわけですが、どの子たちも口をそろえて言うのは、仲間と活動することの楽しさ、いろいろな知恵を出し合うことの楽しさ、実際に物を売って周りの人たちと接する楽しさなど、いろいろな楽しさを味わっているなということを感じました。この活動を通して商工会議所青年部の方自身もいろいろと学びがあると、例えば、改めて「株式会社」は何ですかと聞かれると、どうやって説明しようかなというようなことで、自分たちも勉強になるというようなことを言ってくれました。8グループということで限られたとか少ないかなと思われるのですが、あまり多く広げることができないのでこのような形でやっているのかなと思っておりますけれども、とてもいい活動を、子供たちのいい表情を見させても

りました。

11月15日、16日は、先ほど話題にしました嚶鳴フォーラムに参加してきました。今年は宮崎県の高鍋町で開催され、ここは、石井十次先生という「児童福祉の父」と言われている方を先人としていろいろな教育を進めているわけですが、その中で教育長会議がありました。話題は先人教育についてということですが、3点ポイントがありました。1つは当事者意識を育むためにはどうすればよいか。例えば恵那市の例でいうと佐藤一斎先生。岩村で本当にいろいろな教育が進んでいるわけですが、ではほかの町ではどうかということなのです。長島町でも佐藤一斎先生のことをやっているかどうか。例えばですけど、そういうようなことで当事者意識をどうやって育むか。それから、「誇り」を持たせたいのだけど、それをどうやってつないでいくといいのかなというようにも話題になりました。最後に、伝えていったり、つないでいったりするための環境づくりをどうしたらいいのかということ、9つの市町村の教育長と意見交流をしたところです。その中で、最後にアドバイザーの方が言われたのは、先人教育というのは何も偉い人とか有名な人だけではなくて、自分の周りにいる先輩とか先に産まれた方たちみんなが先人であるわけで、そういう人たちからいろいろなことが学べるということを考えれば当事者意識とかもつくりやすいし、広がりも出てくるのではないかなというようにお話をさせていただいて、なるほどと思いました。

それから、11月22日には、B&Gの体育館と施設がある市町村の教育長会議がありました。今年は約230名の教育長が集まって、年々数が増えているということですが、話題は部活動の地域移行についてでした。基調講演をやられた方は、部活動の地域移行という考え方よりも地域で子供たちや一般の方も含めてなのですけど、スポーツや文化を楽しむとか、そういう層をつくるにはどうしたらいいかみたいな発想をしていかないと、部活動だけを移行すればいいとか、そういうことではないのではないかなというように、いろいろな先進地域の実践例などもお話をいただきました。

この11月は学校の発表会もあり、自分自身もいろいろなところに行って、たくさんのお話を学ばせていただきましたけれども、学んできたことまたは知り得た情報を担当課とも共有しながら恵那の教育にプラスになるように考えていけるといいなと思った11月でした。報告は以上です。

## 5 議事

教育長 では、日程第5に入っていきます。

議案審議です。本日は6つの議案を審議していただきます。

最初に、議第35号城ヶ丘こども園の指定管理者の指定について、事務局より説明をお願いします。

副教育長 議第35号城ヶ丘こども園の指定管理者の指定について説明。

続いて、議第36号岩村こども園の指定管理者の指定について説明。

教育長 では、今の事務局からの説明についてご質問等あればお願いします。

西尾委員 城ヶ丘、岩村両こども園ともにこの指定管理者は再指定ということでしょうか。  
副教育長 そうです。  
西尾委員 結構です。  
教育長 ほかはどうでしょうか。よろしいですか。  
では、1つずつ確認をしていきます。  
議第35号については、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。  
委員 異議なし。  
教育長 では、ご異議なしと認めます。よって、議第35号は原案のとおり承認することに決定しました。  
続いて、議第36号について、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。  
委員 異議なし。  
教育長 では、これもご異議なしと認めます。よって、議第36号は原案のとおり承認することに決定しました。  
続いて議第37号、38号、39号の契約の締結について、3つ続けて事務局から説明をお願いします。  
事務局長 議第37号から議第39号までの契約の締結について説明。  
教育長 ただいまの事務局からの説明についてご質問等あればお願いします。  
西尾委員 この3つの工事の内容以外にあと何がありますか。  
事務局長 この工事は校舎の増改築等がございますので、このほかに屋外倉庫の建設や太陽光パネルの設置などの工事がございます。  
西尾委員 それはまた別ということですか。  
事務局長 それはまた別になります。  
樋田委員 本契約は12月の議会を通過してからですか。  
事務局長 そうです。議会で議決をいただいた日が本契約日となります。  
樋田委員 なるほど。開校までに間に合いますか。  
事務局長 間に合う予定で進めています。  
樋田委員 相当心配ですね。  
事務局長 そこは設計会社等も含めて調整をしておりますし、この夏から秋にかけて、前に説明したとおり材に使う木材は既に先行発注をして板を作っていたいただいています。それから倉庫等があった場所に増築棟を造るのですけれども、現場を見てもらうともう壊れておりまして、契約後、速やかに現場に入れるという工事をしております。丸々1年あるという予定になっていますので、順調に進んでおります。  
樋田委員 教育委員会としては、途中の見学というのは何か計画されていますか。  
事務局長 そうですね。この冬ぐらいから基礎工事が始まって春になると建て方が入りますので、そのぐらいのタイミングで1回現場を見ていただくことは可能かなと思っています。それから増築棟につきましては、おおむね年内をめどにできる予定です。  
樋田委員 来年の。

事務局長 はい。来年です。それができた段階で、例えば、今日は定例会を図書館で開催していますけど、山岡中学校で会議をしながら現場を見ていただくということも可能です。完成後には、3月ぐらいになろうかと思えますけど、地域の皆さま等も含め、少し期間を取って内覧会を行いたいと思います。竣工式が終わり、それから内覧会をやり、開校式に向かうと、そのような予定を考えています。

樋田委員 分かりました。

教育長 事務局の職員は定期的に工事現場を見に行っていますし、状況もつかんでいます。  
ほかはどうですか。よろしいですか。  
それでは、まず議第37号契約の締結について、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

委員 異議なし。

教育長 議第37号は原案のとおり承認することに決定しました。  
続いて、議第38号契約の締結について、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

委員 異議なし。

教育長 議第38号も原案のとおり承認することに決定をしました。  
続いて、議第39号契約の締結について、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

委員 異議なし。

教育長 議第39号は原案のとおり承認することに決定をしました。  
続きまして、議第40号令和6年度12月補正予算（案）に関する意見について、事務局から説明をお願いします。

事務局長 議第40号令和6年度12月補正予算（案）に関する意見について説明。

教育長 では、ただいまの説明についてご質問があればお願いします。

西尾委員 基金の件ですが、本年度は468万円ということで、次年度以降はどういう予定ですか。

事務局長 取りあえず、令和7年度に募集のある5人分、短大が2名、専門学校が3名、この部分について必要な部分だけを現段階で積み立て財源を確保して、年度末から年度始めにかける募集の根拠としていきたいというところになっています。  
この後は、様子を見ながらですけど、市全体の中で決算剰余金等が出ますので、その中から利用状況を見ながら積み増しをしていきます。積み増しをしながら、必要なときには積み立てた基金から使用していく予定をしております。一遍に10年分なら10年分積み立てるというのも1つの方法かもしれませんが、決算剰余金の全体の割り振りの中で、まずは何人にどれだけ使うかということで必要な分だけを確保していきます。今年に関しては1人、令和6年度から借りている子がいますけど、この子については基金ではなく一般財源で充当しましたので、今後この制度を長く続けていくためには、お金をまず積み立てておいて該当者が出了場合はそこから使っていく。貯金から使っていくというような考え方のもとで始めたものですので、順番に積み増しをしていきたいというこ

とは考えています。

西尾委員 スクールバスの売却についてですが、局長さんの説明の数字が間違っていました。1, 249, 000円です。

事務局長 すみませんでした。訂正をさせていただきます。

樋田委員 さっきの基金の件だけれども、学生が対象になるわけだが、それを市民は知ってみえますかね。

事務局長 これは高校等やホームページ等でお知らせをしますし、保育教諭ではないですけれども、先日、恵那高校に出向きまして高校生を対象に教員修学資金の説明をしてきました。その中で、子供たちを対象にするよりも、実際に学費を払うのは保護者の皆さんですので、今後は保護者の皆さんが集まるときに、少しお時間をいただいて説明した方がより響くかなと思います。生徒を対象に説明しても分かってはいただけるとは思いますが、紙をもらって家に持って帰るぐらいになってしまうのではと思うので、そのあたりは考えたいと思っています。

樋田委員 せっかくのいい制度だから、みんな利用してくれるといいと思います。

事務局長 そうですね。特に教員修学資金の方は、教員採用後6年たった後に恵那市を拠点にいただければ返済免除になるので、かなり魅力的な制度だと思っています。教員不足解消という課題の中の1つの手法として進めていきたいと思っています。

教育長 ほかはどうですか。

村松委員 4ページの(9)番の武並こども園の遊具の修繕で、「点検結果により」と書いてあるのですが、これは武並こども園だけだったということですか。

事務局長 そうです。毎年1回、業者に遊具の点検をしていただいています。その点検をした結果、緊急的に早く直さないといけないもの、少し様子を見るものにランクが分かります。その中で武並こども園の登り棒になるのですが、緊急性が必要だという指摘がありましたので、早速に対応するというところでございます。

村松委員 分かりました。こども園の訪問に行ったときに、結構子供たちが遊具で遊んでいたのので、点検はどのぐらいの間隔でやっているのかなというところの確認をさせてもらいました。

事務局長 年一で点検し、その報告をいただいて緊急度の高いものから順番に修理をしたり、交換をしたりしていくということです。

村松委員 分かりました。ありがとうございます。

教育長 ほかはどうでしょうか。よろしいですか。

では、議第40号については、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

委員 異議なし。

教育長 議第40号は原案のとおり承認することに決定をしました。

続きまして報告事項へ移ります。報第3号令和5年度教育委員会点検・評価報告書について、事務局から説明をお願いします。

事務局長 報第3号令和5年度教育委員会点検・評価報告書について説明。

教育長 報告ではありますけど、何かご質問等ありましたらお願いします。

西尾委員 これは令和5年度の事業に対する評価ということで、先ほど局長からの説明にもありましたポーランドとの交流、笠置峡における事前合宿が功を奏し、岐阜県をも巻き込んだ交流が始まったというようなことで、先日もわざわざポーランド大使が恵那市までお越しいただいたというような話も聞いております。当時、市教育委員会の方が中心となって合宿を誘致したということが非常に大きなことにつながっているなど。令和6年度のポーランドとの交流もまたいいものができていますし、令和7年度以降も継続して行っていただきたいなということをおもいます。以上です。

教育長 ありがとうございます。ほかはよろしいですか。  
それでは、本日の議案審議、報告事項は全て終わりましたので、これをもちまして、令和6年第12回恵那市教育委員会定例会を閉じます。ありがとうございました。  
午前9時47分閉会を宣言。

令和6年11月26日

教育委員 樋田千史

教育委員 西尾修欣